

これからも遊ぼうね



3月16日に、三好市保健センターで親子ふれあい教室が開催されました。池田と山城から、25人の子どもたちとその保護者が参加しました。

今回は4月から幼稚園や保育所へ通う子どもたちの激励会で、親子でクッキーを作ったり、みんなで体操や手遊びをして遊びました。また、4月から幼稚園や保育所へ通う子どもたちにはメダルを渡し、みんなで記念撮影をしました。幼稚園や保育所でもたくさんお友達を作って元気に遊んでくださいね。入園・入所おめでとう。

地域の活性化を実現しよう



「地域で共創の風を起こそう」をテーマに、とくしまNPOフォーラム in 三好市が3月14・15日の2日間、市内で開催されました。

1日目には市内のNPO法人や住民団体の代表らで意見を交換する座談会が行われ、2日目には4つの分科会に分かれ、地域福祉、商店街の再生、田舎を楽しむ、生活文化体験などについて意見を交わしました。また、市街地の散策や炭焼きなどの体験なども行われ、まちづくり活動を実感しました。

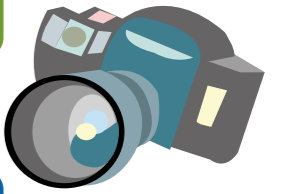
三好市は3周年を迎えました



平成18年3月1日に三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村が合併し、三好市が誕生してから、早くも3年が経過しました。その市制施行3周年を記念した式典が3月2日、三好市役所で開催されました。

式では、市長や議長の祝辞、この1年の経過をまとめたビデオの放映、市へ寄贈をくださった方や功労のあった方、またスポーツや作文など全国区で功績のあった方々などへの表彰が行われました。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

桜を見ながらのんびりと

3月25日から諏訪公園で桜まつりが始まり、29日にはイベントも開催されました。この日はお茶席が設けられ、桜を見て、鳥の鳴き声を聴きながらいただくお茶はとても美味しそうでした。また、もち投げも行われ、たくさん家族連れらが公園を訪れ、暖かい日差しを受けながら、のんびりと一日を過ごしました。

今年は暖冬の影響で全国的に桜の開花が早く、三好市内のあちらこちらで早い時期から桜の花を目にすることができました。



アイランドリーグ 4 球団集合



四国・九州アイランドリーグ開幕前の前哨戦、四国4球団が総当りするリーグ戦「プレシーズンカップ」が3月20日と21日に池田球場で行われました。四国の4球団が三好市に集まるということで、たくさんのお客が池田球場を訪れました。

大会の運営には、地元のインディゴソックスみよし開催後援会や、中学校の野球部員ら約40人が支援しました。特に中学生にとっては、近くでプロのプレイを見ることができ、良い機会となりました。

春にも妖怪が現れた



3月20日、春の妖怪祭りが道の駅大歩危で開催されました。これは昨年、漫画家水木しげるさんが会長を務める世界妖怪協会の「後世に遺したい怪遺産」に認定されたことを記念したイベントで、初めて春に開催されました。

オープニングでは妖怪20体が登場しました。その後、村民ほら吹き大会が行われ、参加者の「ほら」に会場は笑いに包まれました。また、国立歴史民俗博物館副館長の常光氏より「人類にとって妖怪は必要か」という講演も行われました。

市内半分の小学校に AED



3月19日、阿波池田ロータリークラブが創立40周年を迎え、AED（自動体外式除細動器）を日本赤十字社へ5台寄贈し、それが三好市内の小学校（馬路・大野・下名・西井川・吾橋）に設置されました。これにより、市内の小学校30校のうち、半分の15校にAEDが設置されたことになりました。

日本赤十字社徳島県支部の三木事務局長は「常に使うようなことがあっては困るが、いざというときに活用してください」と話しました。

食育について考えよう



食育についてのイベント、みよし食育フェスティバルが、3月1日に池田総合体育館で開催され、約600人が来場されました。会場では、食育についての展示や地元の食材を使った試食、野菜等の直売、歯科検診相談や子育て相談、そば打ち体験なども行われました。

また、徳島県出身でテレビなどで活躍している料理研究家・浜内千波さんが「食育ではぐくむ優しい心」と題した講演を行い、食育の大切さを話してくれました。

秘境を巡る定期観光発車



3月1日、池田バスターミナルで観光シーズンの幕開けを告げるボンネット定期観光バスの発車式が行われ、運行が始まりました。この日は今年第1便となるバスの運転手への花束贈呈、関係者らに乗客も加わりテープカットが行われました。バスは県内外から訪れた乗客21人を乗せ、手を振る関係者らに見守られながら秘境を巡る旅に出発しました。

4月からはより秘境ムードが味わえる東祖谷を巡るコースも始まり、郷土料理も楽しむことができます。

ふれあいサロンでいきいきと



「健康」をテーマにとりあげ、井川町の浜西・浜東自治会において、2月23日にふれあいサロンが開催されました。ふれあいサロンは、地域の高齢者が気軽に集い、健康で安心・安全の居場所としての機能をもつ活動で、三好市社会福祉協議会で支援しているものです。

この日は、北島町のうぐいすりハビリ研究所から理学療法士の講師を招いて、自宅でもできるリハビリ運動（機能回復訓練）などを教えていただきました。

美しい祖谷にしよう



三好市へは美しい自然環境を求めて、多くの観光客が全国から訪れています。しかし各観光地やアクセス道には、ポイ捨てや不法投棄も多く、観光客に対してマイナスイメージも与えています。そこで、3月29日に祖谷のかずら橋周辺や東祖谷エリアを清掃するイベント「ふるさとまもり隊」が開催され、観光団体や地域住民など多数の方が参加しました。

捨てられた空き缶やペットボトルなどを拾い、橋の欄干掃除、チェーンソーや鎌で下草を刈ったりしました。

高齢者福祉の向上を



3月27日、第5次三好市高齢者保健福祉計画・第4期みよし広域連合介護保険事業計画の素案が、それぞれの策定委員会内田伸昭委員長より市長に報告されました。

両計画は今後3か年の三好市の高齢者福祉、介護保険事業の指針となるものです。この計画で21年度から23年度の介護保険料も試算しています。計画策定にあたりました委員の皆様、アンケートに協力いただきました皆様に、心よりお礼を申し上げます。

スキークの季節が終了



市営の井川スキー場腕山が、今シーズン（2008～2009シーズン）の営業を3月22日で終了しました。本来は23日までの営業予定でしたが、天候不良のため1日早めました。昨年の11月21日にオープンし、営業日数は122日間。来場客数は57,725人で1日平均は473人となりました。今シーズン最後の週末には、過ぎ行くスノーシーズンを惜しみ、シーズン最後の滑り納めをしようと、県内外からたくさんのお客さんが来場しました。

郵便局で証明書等を交付



井川町井内地区の行政の窓口として、井内連絡所が3月末日をもって廃止となりました。それに代わって4月1日より井内郵便局で住民票など一部の発行業務ができるようになり、市内では大歩危郵便局と出合郵便局に続き3か所目となりました。

また、この日に証明書交付事務取扱開始セレモニーが行われました。セレモニーでは井川総合支所長と井内郵便局長とが挨拶とテープカットを行い、早速証明書の発行に訪れた市民もいました。

男女共同参画社会にむけて



3月30日、三好市男女共同参画策定委員会の黒木公子会長（三好市女性連絡協議会会長）より三好市長に、三好市男女共同参画基本計画の策定を報告しました。

これは、男女共同参画社会の実現を総合的かつ計画的に推進するために策定したもので、平成20年8月19日に第1回三好市男女共同参画基本計画策定委員会が開催されました。その後、市民意識調査の実施や、策定検討委員会などを重ね、今回の運びとなりました。

春の訪れを楽しみました



地元の方主導の地域のおまつりで、10回目を迎える馬路さくらまつりが、3月29日に馬路小学校で開催されました。この日はとても天気がよく、暖かい日差しのなか、たくさんの人手で賑わいました。

会場では、さくらまつり踊りの披露や、カラオケ大会に金魚すくい、ジャンケン大会や抽選会も行われ、とても盛り上がりました。バザーでは地元米の販売や、うどんや団子なども売られ舌鼓を打つなど、思い思いに春の訪れを楽しみました。